

AWSでのvCPEコンポーネントの監視

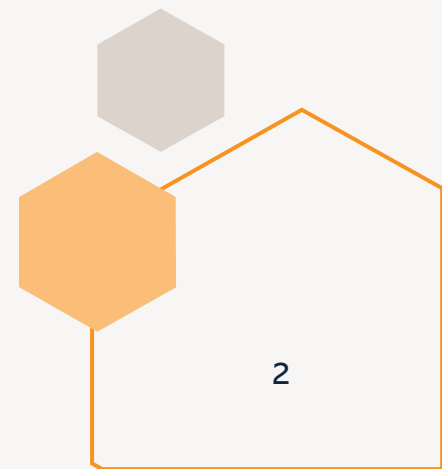
27036

Kanishta G



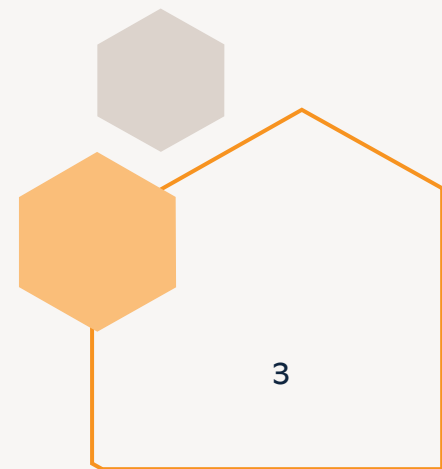
概要

- ✓ 問題の説明
- ✓ 目的
- ✓ システムの設計
 - タイプ1のメトリクス
 - クラウドフォーマーションによるデプロイ
 - タイプ1のメトリクス
- ✓ 結果



問題の説明

このプロジェクトの目的は、AWSでホストされているvCPEのHTTP API Gatewayを監視し、それをGrafanaで過去のデータとして視覚化するためのフレームワークと完全なプラットフォームを提案することです。



目的

1. タイプ1のメトリクス:

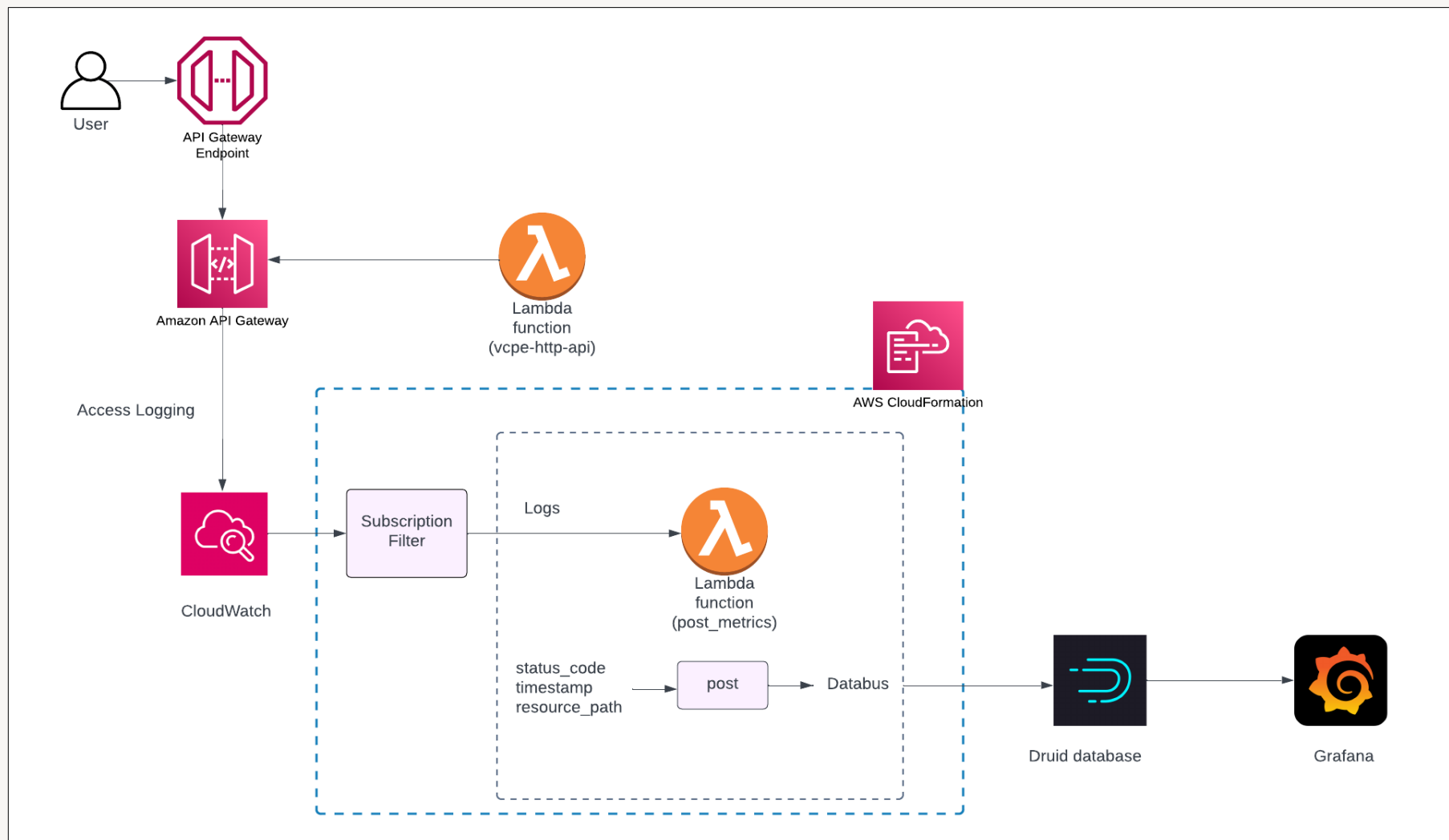
API GatewayとCloudWatchからのHTTPコード 2XX、4XX、および5XXのHTTPコードなどのメトリクスを収集し、データベースに送信してGrafanaで履歴データとして可視化します。

2. タイプ2のメトリクス:

REST APIのエンドポイントとそれらのHTTPメソッドは収集され、REST APIの使用パターンを把握するために分析されます。これらのメトリクスは、新しいサブスクライバーの追加や他のチームがこのAPIをどのように使用しているかをモニタリングするのに役立ちます。

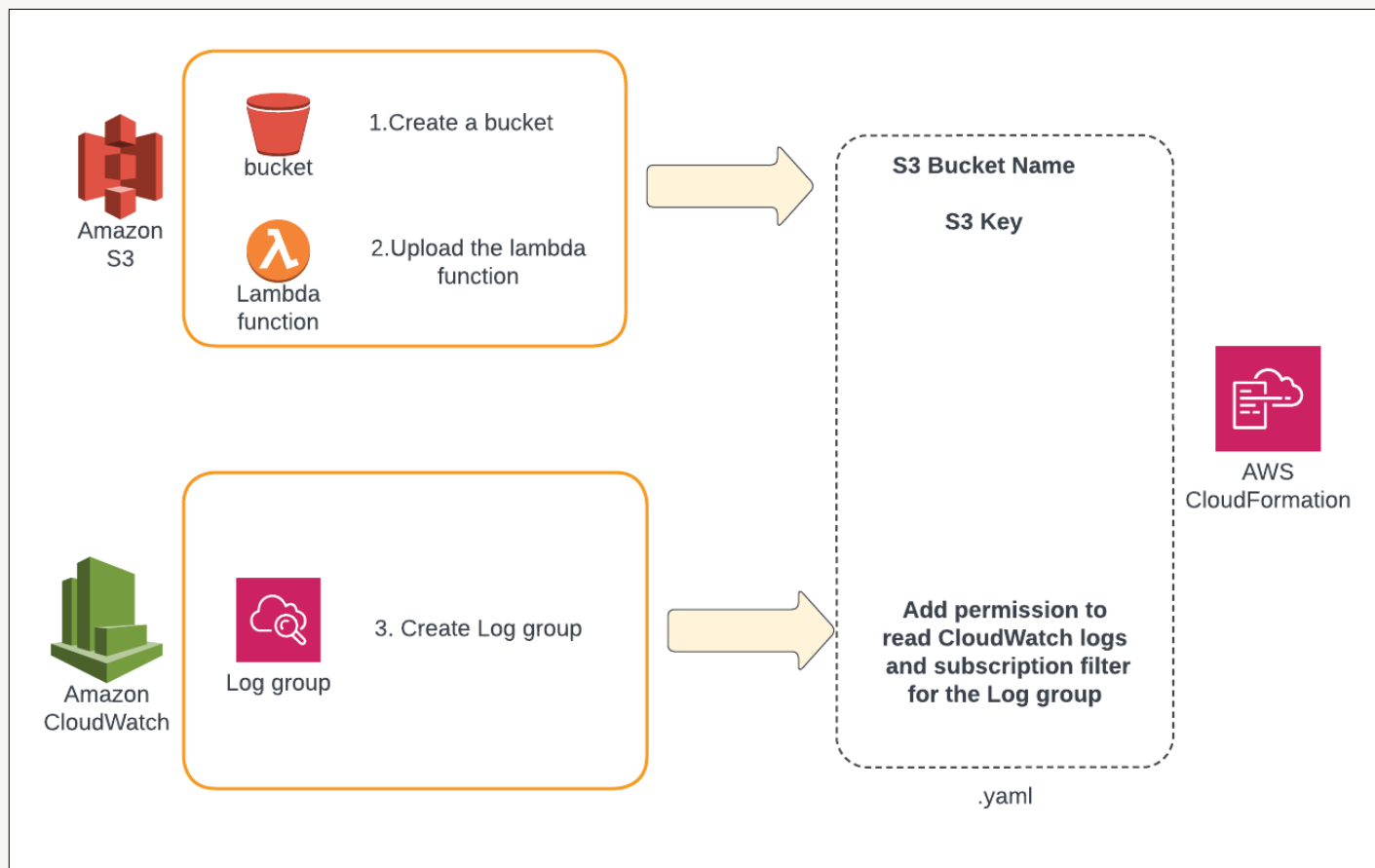
システムの設計

タイプ1のメトリクス



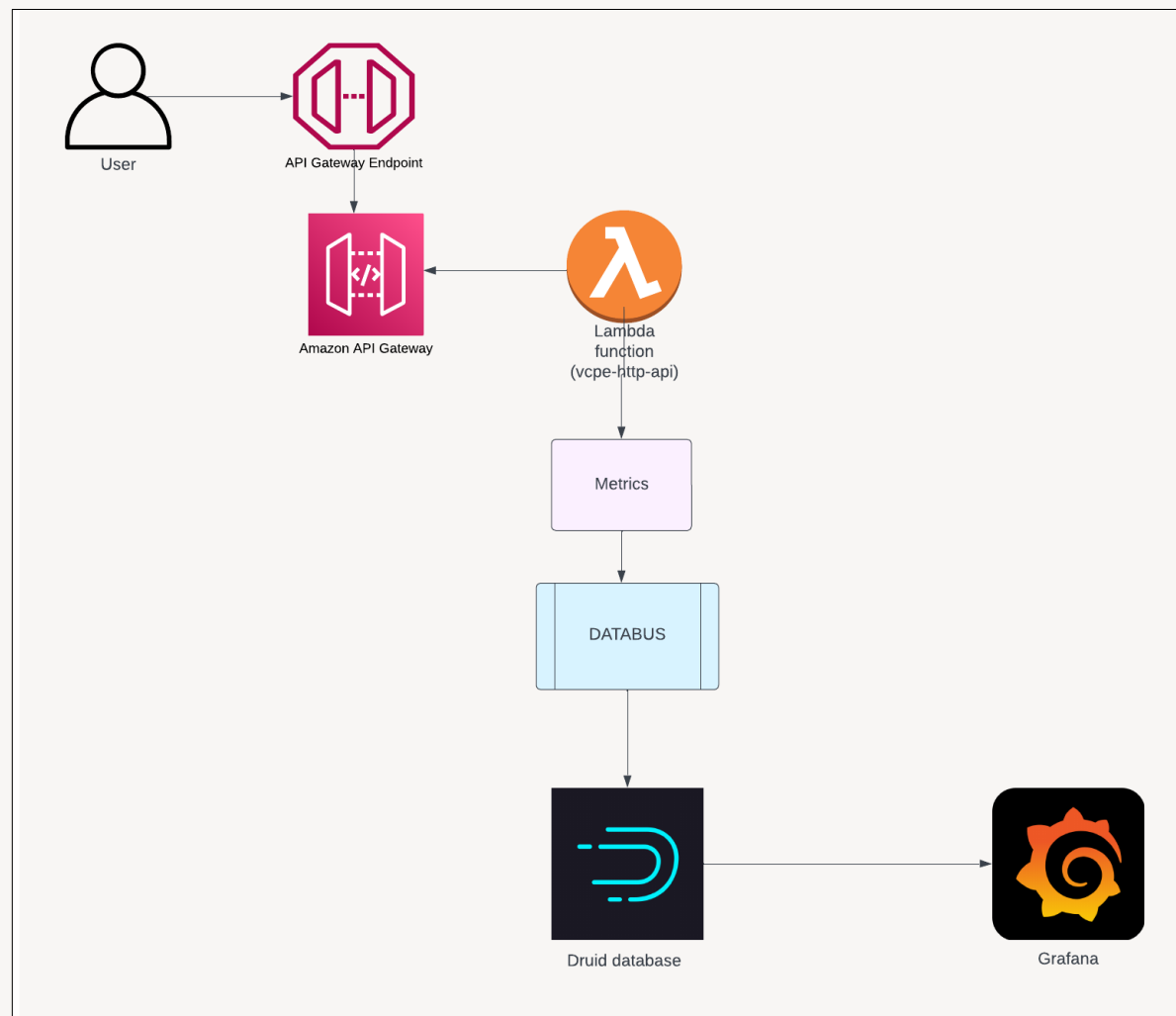
システムの設計

タイプ1のメトリクス - クラウドフォーメーションによるデプロイ



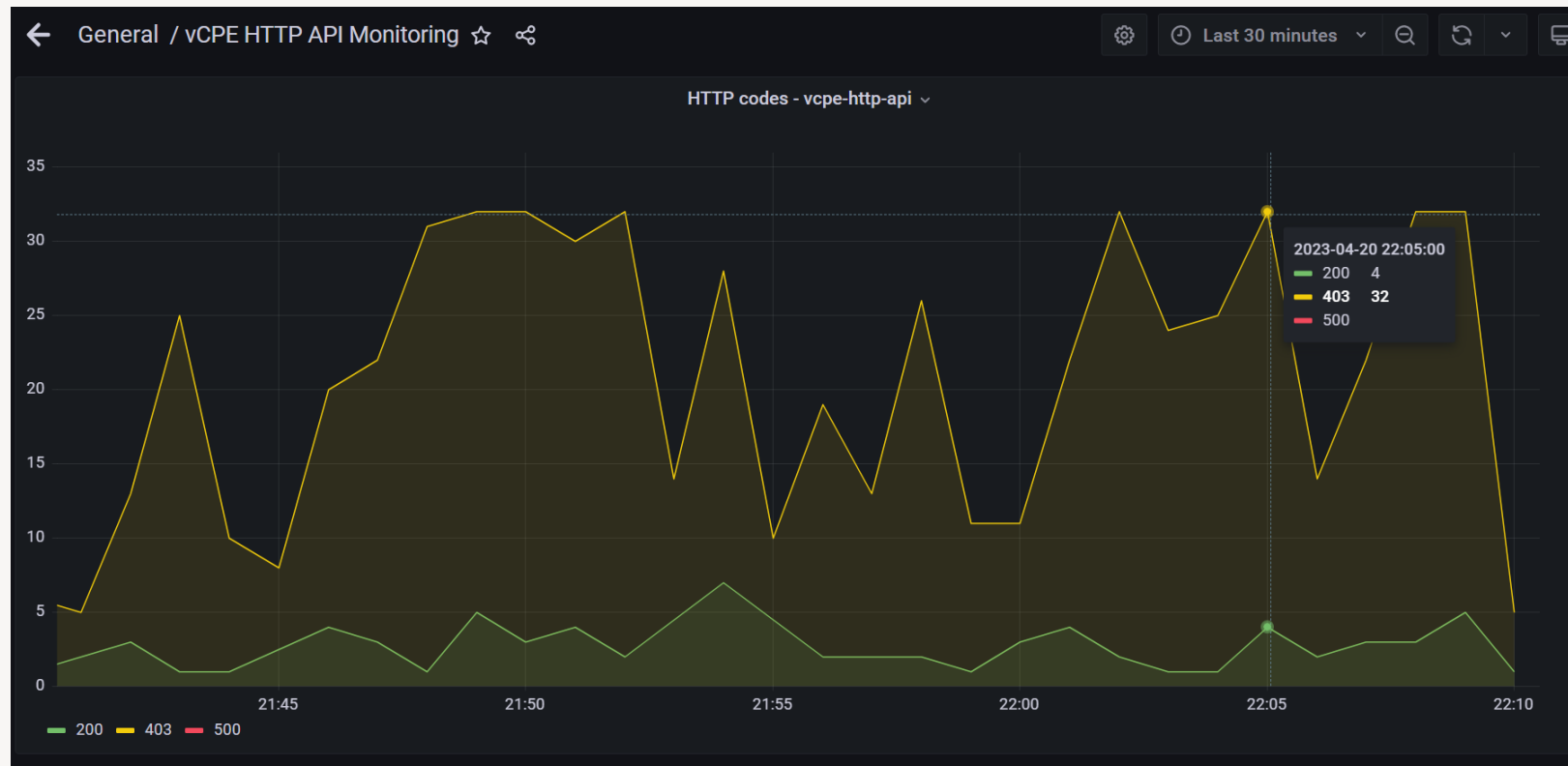
システムの設計

タイプ2のメトリクス



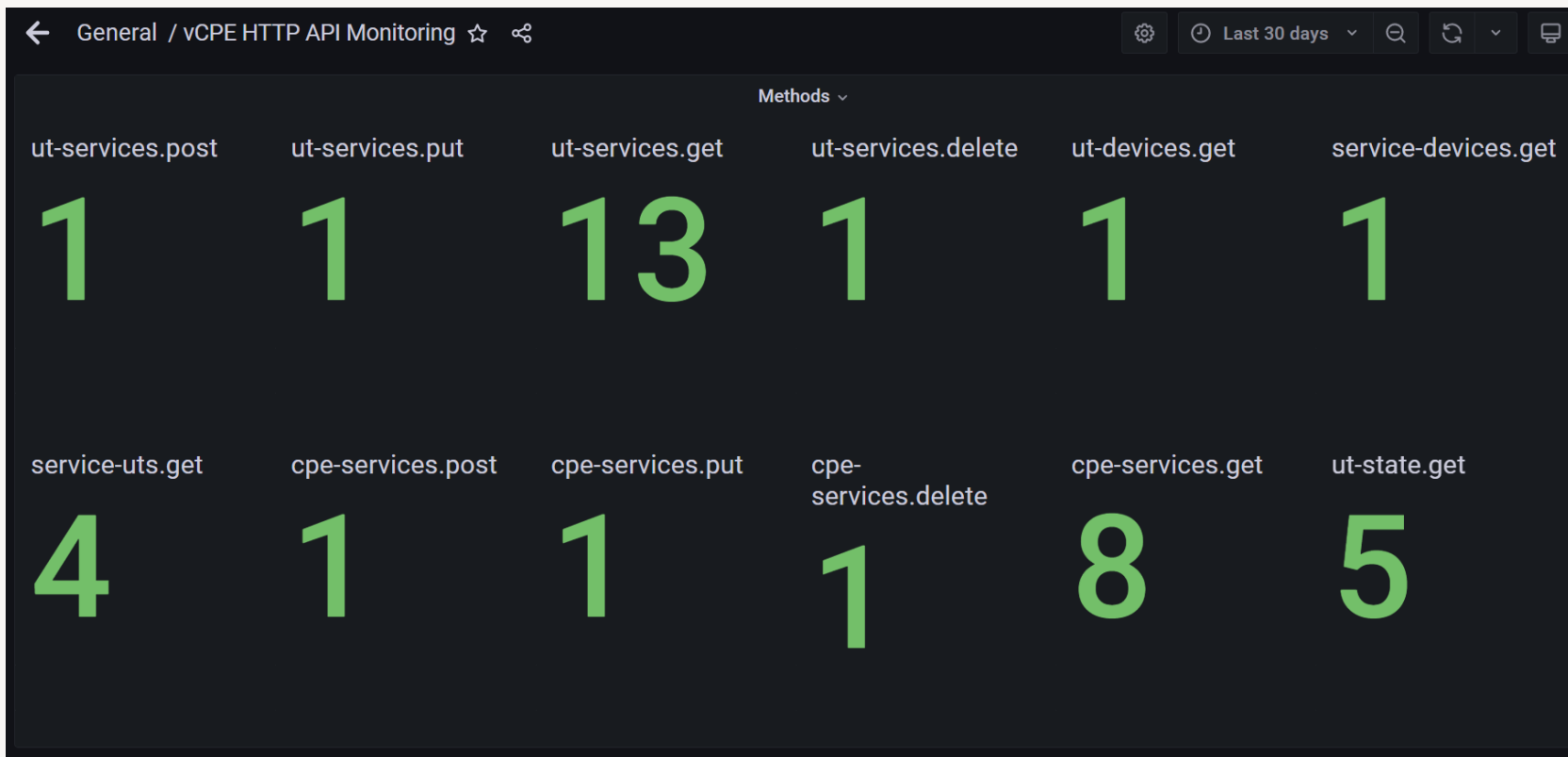
結果

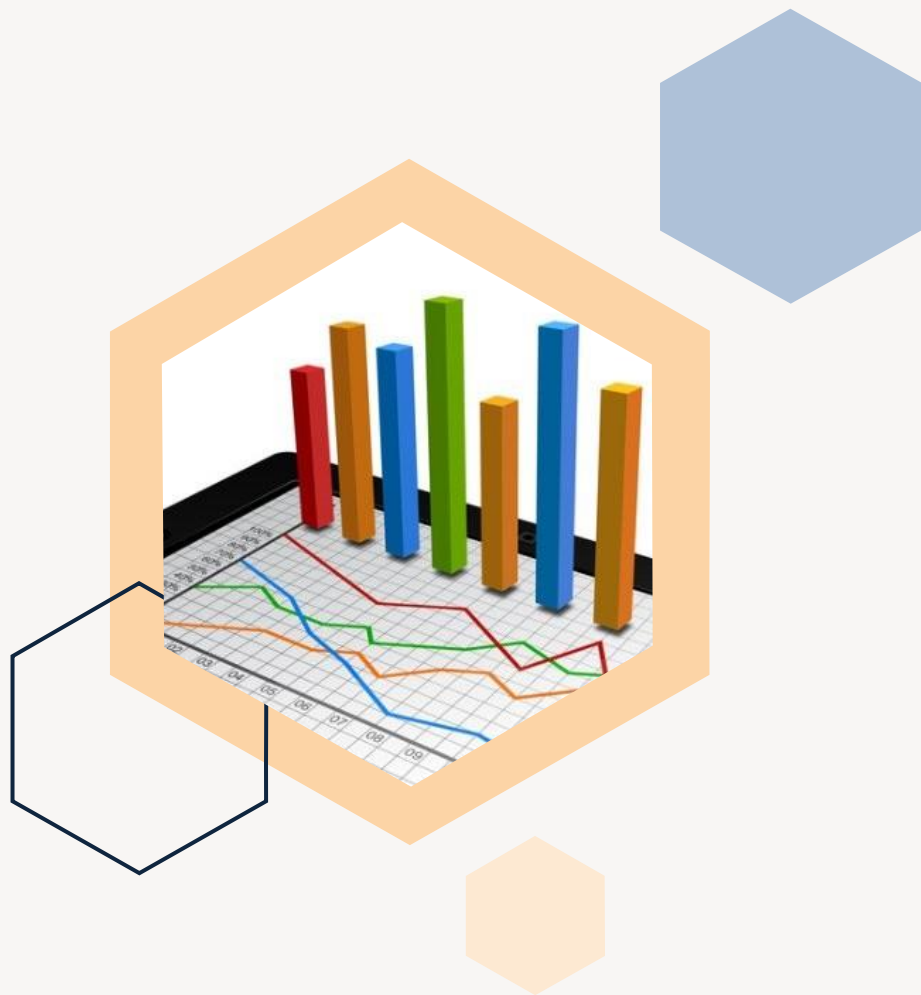
HTTPステータスコードを視覚化するためのダッシュボード



結果

APIエンドポイントメトリクスを視覚化するためのダッシュボード





“ 開発者は自分たちのAPIの
パフォーマンスについてよ
り深い理解を得ることがで
きます。”



ありがとうございました!

27036

Kanishta

kanigengaa33@gmail.com